

2015-B					
拠出金・基金の 名称		国連国際防災戦略拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】国連国際防災戦略事務局					
【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局地球規模課題総括課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 UNISDRは、途上国が自らの力で防災を進められるよう、各国に対し、国内の防災取組を調査し定期的にUNISDRに報告する制度を構築している。UNISDRは、各国からの報告をとりまとめ、防災取組の地域的・国際的な進捗状況を分析し世界防災白書として発表するとともに、今後必要な取組について提言している。また、防災ウェブを運営し、災害・防災データ等を公表している。さらには「世界津波の日」などの普及啓発活動に取り組んでいる。我が国の拠出金はこうしたUNISDRの活動に使用される。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成27年度	134,655	1,224		1米ドル= 110円	100
平成26年度	79,655	821		1米ドル= 97円	100
平成25年度	67,337	821		1米ドル= 82円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 UNISDRの取組の成果として、2005年以降、多数の途上国において防災意識が向上。具体的には、116か国が防災政策を国内で実施する基盤となる防災国内委員会を設置した(注：兵庫行動枠組が採択された2005年前までは10か国程度が防災国内委員会を設置していたが、過去10年で設置数が10倍に増加)。また、2005年以降、133か国(2011年統計120か国)が兵庫行動枠組実施のための担当部局を任命し、防災事業を実施するとともに進捗状況を自主的に調査している。引き続き、途上国の防災努力及び国際社会の防災協力を推進するためにも、UNISDRを支援する意義は非常に大きい。					